

チンパンジーの複雄複雌群形成と母子の安全確保を目的とした発情抑制について

○小村 圭, 森 香奈, 福守 朗
(鹿児島市平川動物公園)

平川動物公園では2015年7月に雄2頭, 雌2頭の計4頭で複雄複雌群を形成させた。さらに2016年9月に雌1頭の導入を行った。新規個体の同居が完了していない状況で既存個体が妊娠し, 2017年4月に出産した。雌の発情時に闘争が起きる傾向にあったため, 安定した群の形成と母子の安全確保を目的とし, 黄体ホルモン剤を投与し発情の抑制を試みた。その結果, 闘争の頻度に変化はないが重傷を負うことが少なくなり新規個体の同居も完了した。今後は安定した複雄複雌群の維持が課題である。